

清荒神地区におけるモビリティの実証実験の成果と課題について

産業文化部 観光にぎわい課

包括連携協定を締結しているネットヨタ神戸株式会社が国の補助金を活用してモビリティを走行させる実証実験を行う事業で、同社はモビリティを調達し、市は事業者と地域とのつなぎ役、広報周知を担います。なお、市の財政負担はありません。

1 実証実験の成果

期間：11月9日～1月31日

利用実績：11月19件、12月16件、1月5件

- ・ 民間事業者のノウハウと投資により、公共空間で新たなモビリティのニーズ調査を検証できた。
- ・ 観光エリア内において、立ち乗り型・座り乗り型の次世代モビリティの導入可能性を検証し、高齢者や坂道移動が負担となる来訪者への新たな移動手段の選択肢を提示できた。
- ・ 利用者や地域からも歓迎の声が多く聞かれた。
- ・ 実証実験を通じて、安全運用体制、貸出オペレーション等の実務面の知見を蓄積し、今後の展開に向けた基礎情報を取得できた。

2 実証実験で得られた課題

- ・ 清荒神エリアは年末年始の参拝により歩行者混雑が発生し、安全確保の観点から十分な走行実証ができなかった。
- ・ 利用件数が限定的に留まり、認知度向上および利用促進施策の強化が必要である。
- ・ 観光利用と日常利用の目的差別化を図るのか、両立可能性があるのか検討していく必要がある。